

## さまざまな働き方をサポートするビジネス向け機能を強化 小型・軽量で持ち運びしやすいモバイルプリンター “TR153” を発売

キヤノンは、インクジェットプリンターTRシリーズの新製品として、小型・軽量で手軽に持ち運び可能なモバイルプリンター “TR153” を 2020年4月9日に発売します。



TR153

近年、場所や時間を個人が選択できる柔軟なワークスタイルが広がっています。こうした社会環境の変化をとらえ、小型・軽量で手軽に持ち運びができ、充実したビジネス機能を備えたモバイルプリンター “TR153” を発売します。スマホやタブレットから快適に印刷でき、外付けバッテリー（別売り）を装着することで、電源確保を気にすることなく使用できます<sup>※1</sup>。営業活動や医療・介護などの訪問先、コワーキングスペースやカフェでの書類作成などのビジネスシーンでの活用に加え、高画質印刷を実現する5色ハイブリッドインクの採用により、家庭での文書や写真のプリントニーズにも応えます。

### ■ 外出先に手軽に持ち運び可能な小型・軽量設計と 5GHz の Wi-Fi 対応

大きさ約 322（幅）×185（奥行）×66（高さ）mm<sup>※2</sup>、質量約 2.1kg の小型・軽量設計により、外出先に手軽に持ち運びできるだけでなく、会議室や受付カウンターなどの限られたスペースにも設置可能です。また、USB ケーブルでも充電できる外付けバッテリーにより、車内や屋外の作業現場など電源確保が難しい環境でも使用できます。さらに、電波干渉に強い 5GHz の Wi-Fi に対応し、スマホやタブレット、PC からケーブルを使わずに快適に印刷できます。

### ■ 多様なビジネス現場での快適なプリント環境を提供するユーザビリティ

あらかじめプリンター内に保存したデータをプリンター本体から直接プリントできる「定型文書プリント」<sup>※3</sup>機能を搭載し、プリンター本体だけで帳票や問診票、カタログなどの定型文書を印刷できます。また、インク残量やネットワーク接続状況などを表示するモノクロ有機 EL ディスプレイをプリンター本体に、バッテリー残量が確認できる目盛り表示を外付けバッテリーにそれぞれ採用しており、プリンターの状態が一目で確認できます。

製品名	希望小売価格	発売日
TR153	オープン価格	2020年4月9日

※1 USB 接続で A4 カラー文書を連続約 330 枚印刷可能。常温、常湿において、新品バッテリーをフル充電の後、ISO/IEC 24712 パターン（5 種類）をドライバーの標準品位で A4 普通紙に連続カラー印刷した場合。

※2 トレイ収納時。突起物含まず。使用時は約 322（幅）×307（奥行）×245（高さ）mm。

※3 保存可能なデータ数は 5 つです。保存先 1 つにつきプリントデータとしての容量で、約 10MB の保存容量があります。（ISO24712 印刷パターンの「Annex C Page 3-News Letter」を保存した場合は、約 11 ページ分に相当。）保存するデータの容量によっては、データを分割する必要があるか、もしくは、保存できない場合があります。

## <主な特長>

### 1. 外出先に手軽に持ち運び可能な小型・軽量設計と 5GHz の Wi-Fi 対応

- ・大きさ約 322 (幅) × 185 (奥行) × 66 (高さ) mm、重さ約 2.1k g の小型軽量設計により、外出先に手軽に持ち運びできるだけでなく、会議室や受付カウンターなどの限られたスペースにも設置可能。



使用イメージ

- ・電波干渉に強い 5GHz の Wi-Fi に対応し、スマホやパソコンからケーブルを使わずに印刷可能。
- ・USB ケーブルでも充電可能な外付けバッテリーにより、車内や作業現場など電源確保が難しい環境でも使用可能。

### 2. 多様なビジネス現場での快適なプリント環境を提供するユーザビリティ

- ・あらかじめプリンター内に保存したデータをプリンター本体から直接プリントできる「定型文書プリント」機能を搭載。PC などの入力機器をプリンター本体に接続できない場合でも定型文書を印刷することが可能。
- ・本体はインク残量やネットワーク状況などがわかるモノクロの有機 EL ディスプレイ、外付けバッテリーにはバッテリー残量の確認ができる目盛り表示を採用。それぞれの状況が一目で分かるため、外出の予定に合わせインク補充や充電などの準備が可能。



モノクロ有機 EL ディスプレイ (イメージ)      バッテリー残量目盛り (イメージ)

- ・外付けバッテリー装着時に AC アダプターだけでなく、USB での充電が可能。
- ・盗難防止ロックスロットを搭載。受付カウンターなど不特定多数の人が利用する場所に常設する際に、市販のロックケーブルを接続可能。
- ・PC やスマホなどから印刷を指示すると、自動でプリンター本体の電源が ON になり、使用後は自動で電源が切れる「自動電源 ON/OFF」機能を搭載し、省電力に貢献。
- ・A4 普通紙カラーで毎分約 5.5 枚、モノクロで毎分約 9.0 枚の高速印刷ができ、一度に最大約 50 枚の給紙が可能\*。

※ A4 普通紙 (64g/m<sup>2</sup>) の場合。

### 3. 幅広いプリントニーズに応える多彩な機能・サービス

- ・染料インク 4 色（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）と、顔料インク 1 色（ブラック）の 5 色ハイブリッドインクを採用。普通紙におけるカラー印刷時に、グレー部分に顔料のブラックインクを使うことで、グレー文字はにじみが少なくなり、カラー部はよりはっきり見やすく印刷可能。
- ・ AirPrint や Mopria®※規格などに対応し、スマホやタブレットなどのモバイル機器からワイヤレスプリントが可能。
- ・ 無料アプリ「Canon PRINT Inkjet／SELPHY」により、写真共有サイトや SNS、ストレージサービスなど、クラウド上の写真や文書を簡単にプリント可能。
- ・ A4 サイズや L 判だけではなく、写真用紙「光沢ゴールド スクエア 127mm／89mm サイズ」（127mm×127mm、2016 年 9 月発売／89 mm×89 mm、2018 年 11 月発売）に対応しているため、SNS などでも人気の「まさかく写真」の印刷が可能。

※ キヤノン、HP、サムスン電子、米ゼロックスの 4 社が 2013 年 9 月に設立した会員制非営利団体。スマホやタブレットなどのモバイル機器やプリンターへの Mopria®認証の普及と、ワイヤレスで簡単な印刷環境の構築を目的とする。

#### <インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2019 年の出荷台数は国内では約 386 万台、全世界では約 5,693 万台でした<sup>※1</sup>。2020 年の出荷台数は国内では約 355 万台、全世界では約 5,590 万台と見込まれています<sup>※2</sup>。

※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2019Q4 Final Historical.

※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2019Q3 Forecast Release

#### <主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

\* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

\* AirPrint は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

\* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。